日本の宿

西伊豆 三津浜 湯の花温泉

太宰治　ゆかりの宿





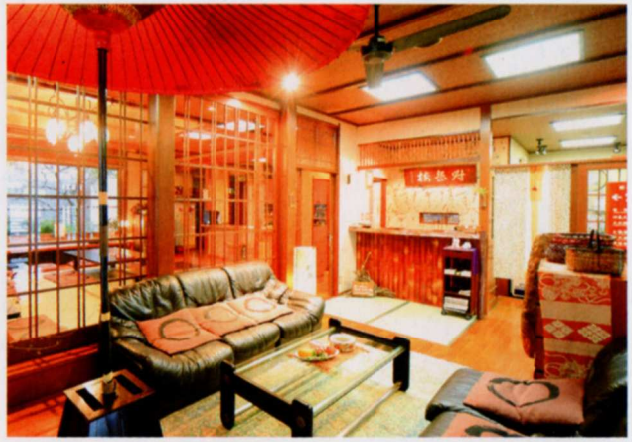


安田屋旅館


天下

対岳楼。

［たいがくろう］



議会政治の父と謳われた明治政府設立の重鎮・尾崎咢堂先生は、当館にご宿泊になったおり、青い海原にぽっかりと浮かぶ淡島とその対岸との間に麗峰富士の山を眺め、ここを「天下一の絶景」と褒められ、当館に「対岳楼」の名をつけて下さいました。雄大な霊峰と駿河湾が織りなすその勝景は今も当時のまま、訪れる旅人の心を癒し続けています。朝の紅富士、夕陽に染まる三津の海もご堪能下さい。



奈良薬師寺管主　橋本凝胤老師御筆



尾崎咢堂先生

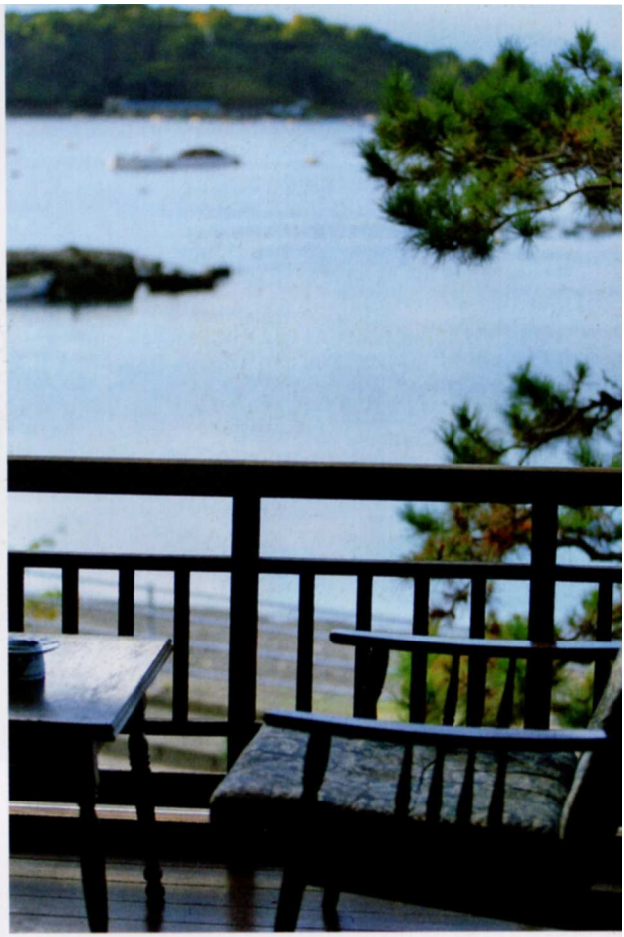

日本宿。
安田屋旅館

国の登録有形文化財に指定された、純和風数寄屋造り。

創業明治二十二年。商人宿だった建物を大正七年、県道開通を機に現在の地に観光旅館として木造二階の松棟を建築し、昭和六年には木造二階建ての月棟を増築しました。松棟・月棟は現在国の登録有形文化財に指定されています。当地、風光明媚な三津浜（みとはま）は駿河湾の奥深く、波静かな入り江です。緑深い自然が、安田屋の趣きある佇まいを包みこむように、豊かな時を刻んでいます。お風呂へと続く中庭沿いの渡り廊下からは四季折々、季節の風景が愉しめ、春先の桃や桜、膳にのる筍、竹林、初夏の蛍、秋の紅葉などが存分にご覧頂けます。







月見草。

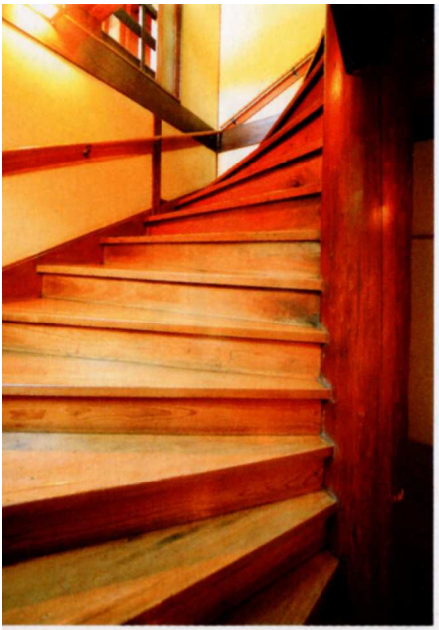
松棟二階月見草の間、
太宰治ゆかりの部屋。
この部屋で名作「斜陽」は
生まれました。



太宰治直筆の文学碑



太宰さんは昭和二十二年二月上旬から約半月、当館二階の月見草（旧名・松の弐）の部屋で、名作「斜陽」の第一章、第二章を執筆されました。海に面して二方が廊下になった十畳のかど部屋は、船着き場と富士山が見える眺望の良い空間で、現在でも宿泊頂けます。



大正時代から残る
螺旋階段



私小説。

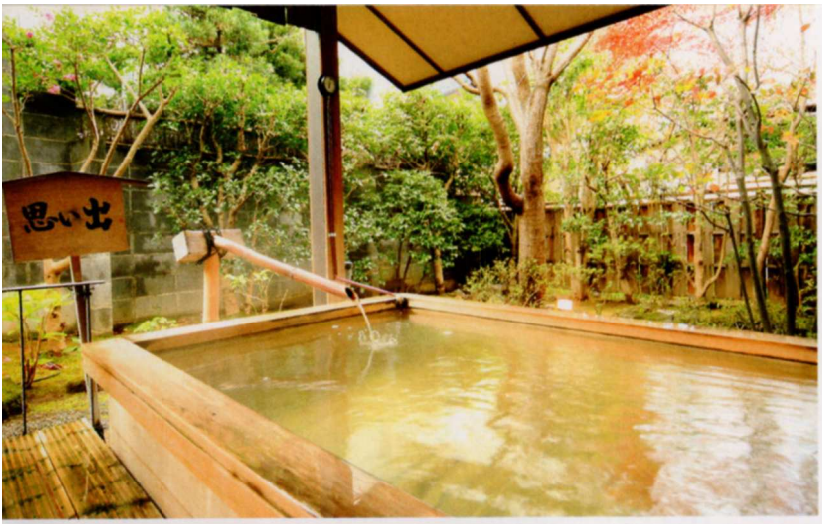
露天風呂付客室。

なにものにも邪魔されず、旅のひとときを心ゆくまで愉しんで頂ける露天風呂付客室をご用意しております。日本間の先に天然温泉の贅。思い立ったときに好きなだけ、ごゆるりと温泉三昧。



夏は夜の海に揺れる漁火を。冬は白き波たつ海原越しの澄んだ富士の山を、湯船から愛でる。春の淡い霞、秋の黄昏時など四季それぞれに美しい景色をご堪能下さい。目を瞑れば潮騒と木立を渡る松籟。寄せては返す波の音が旅の疲れを癒してくれることでしょう。




思い出




満願

湯の花。

三津浜天然、湯の花温泉。この大地の恵みをたっぷり湯面に満たし、湯はしっとりと日々の暮らしや長旅で疲れた身体を温め、ほぐしてくれます。竹林の渡り廊下を楽しみながら、高台の浴室へ。庭園檜風呂・野天檜風呂、富士と海の波光が眩しい石風呂など、それぞれに太宰さんの小説の題名を戴き、野趣と情緒に溢れた湯殿は自然の光の中で優しい湯音をたてています。夕暮れ時も格別です。



泉質は単純アルカリ泉で神経痛や関節痛にもよく、疲れてこわばった身体を癒します。
男女入れ替え制となります。









帰去来。

「帰りなん、いざ」さあ、ふる里へ帰ろう。そんな言葉がこぼれそうな、磯の香りに満ち溢れた心尽くしの会席料理をご夕食にお届け致します。季節の旬彩、滋味たっぷりの海鮮、そしてここでしか味わえない逸品の数々を、ゆったりとご賞味頂けますように。



料理長が確かな目で見極めた四季の厳選食材。ひとつひとつ心を込めてご用意いたします。お部屋へのお届けも一品ごと、最も美味しく召し上がって頂ける瞬間にご提供しています。

安田屋ではお客様にゆっくりお食事を愉しんで頂くために、お夕食はお部屋で召し上がって頂いております。大切な方とすごす客室での優雅なひととき。築八十余年の現在の建物は、障子・欄干などの意匠に建築家のこだわりを感じさせる数寄屋風の空間です。誰にも邪魔されないお部屋で旬のお魚料理や手塩にかけた味の競演を存分にご堪能下さい。







思ひ出。

ひとつひとつの場面が、旅の大切な思い出になる。私共ではそんな想いから館内の随所にも旅を彩る特別な場所や心くつろぐ設えをご用意しています。貴方だけのとっておきの空間に出逢って頂ければ幸いです。



ロビー横お茶処囲炉裏



ロビー奥にはコーヒーやお酒を楽しめる和風なラウンジ。



太宰治にちなんだ伊豆文庫。伊豆ゆかりの文学者の書籍なども収めた小さな資料室、記念館です。



女将の想いが活きる畳敷きの館内。

[施設のご案内]

お部屋数／15室（露天風呂付4・バス付4）
お泊り人数／70名様
お　風　呂／大浴場（野天風呂付）2ヶ所
　　家族風呂1ヶ所
付帯施設／お茶室 ・ お食事処 ・ らうんじ「お伽草紙」
　　おみやげ処「伊豆だより」
　　太宰治資料室「伊豆文庫」
駐　車　場／乗用車20台・バス5台



三津浜。

駿河湾を臨む沼津は美しい港町。一年を通して温暖で穏やかな気候から様々なマリンレジャーや散策が楽しめ、多くの観光客の人気を集めています。海岸沿いを南に下れば、夕陽の名所も点在します。


沼津港水門「びゅうお」


伊豆・三津シーパラダイス


虹の郷


沼津御用邸記念公園

交通のご案内

●新幹線をご利用の場合（平常時）

東京 60分 ┐
名古屋 90分 ┘ 三島駅 ┬ 伊豆箱根鉄道 20分 ┐ 伊豆長岡駅 ―バス 15分― 伊豆・三津シーパラダイス前下車 ┐
└ 東海道線 5分 ┘ 沼津駅 ―バス 35分― 伊豆・三津シーパラダイス前下車 ┘ 当館

●お車をご利用の場合（平常時）

東京方面 ┐ 東名高速 沼津I.C ┬ 沼津市内経由（R1→R414→県道R17） 45分 ┐
名古屋方面 ┘ └ 伊豆縦貫道経由（塚原→R136→伊豆中央道・長岡インター右折） 35分 ┘ 当館



対岳楼　太宰治 ゆかりの宿

安田屋旅館

〒410-0223 静岡県沼津市内浦三津(みと)19
TEL.055-943-2121
FAX.055-941-3441
http://mitoyasudaya.com/

110715000